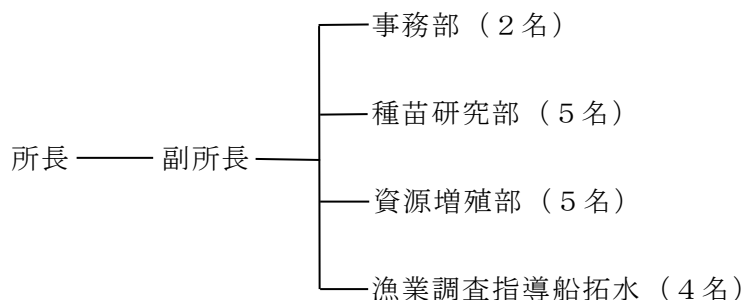


そ の 他

I 庶務一般

1 組織・機構

「福島県水産資源研究所」は、栽培漁業の推進と底魚資源研究の拠点として平成30年6月に相馬市で新たなスタートを切り、2年目を迎えた。



所在地等

水産資源研究所

〒976-0005 福島県相馬市光陽一丁目1番14

電話 0244-32-0792～4 FAX 0244-32-0795

E-mail shigenken@pref.fukushima.lg.jp

ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37395c/>

松川浦分庁舎

〒976-0022 相馬市尾浜字追川18番地の2

電話 0244-38-6775 FAX 0244-38-6777

2 令和元年度事業別予算（千円）

款	総務費	1,538
項	総務管理費	1,538
目	人事管理費	1,538
款	衛生費	191
項	環境保全費	191
目	原子力安全対策費	191
款	農林水産業費	82,608
項	農業費	5,573
目	農業総務費	3,057
	農業研究費	2,516
項	林業費	66

目	林業振興費	66
項	水産業費	76,969
目	水産業総務費	30
目	水産業振興費	17,802
目	水産試験場費	59,137
款	商工費	4
項	商工業費	4
目	工業振興費	4
合	計	84,341

Ⅱ 研究成果検討会・外部発表・一般公開等

1 研究結果検討会等

(1) 水産関係試験研究機関普及に移しうる成果等検討会

開催日時 令和2年1月16～17日

開催場所 水産海洋研究センター

開催経過 令和元年度の研究成果として、「普及に移しうる成果」5課題、「放射線関連支援技術情報」2課題、「参考となる成果」2課題を福島県農林水産技術会議評価部会に提出した。

成 果 課 題 名	区 分	担 当 者
・ホシガレイ飼育初期生残率の大幅向上	普及成果	佐々木つかさ ほか
・ホシガレイ稚魚の長距離大量輸送技術の開発	普及成果	實松敦之ほか
・アリザリンコンプレキソン（1ppm）によるホシガレイ仔魚期での耳石標識について	普及成果	森口隆大ほか
・アサリ資源の維持と品質向上を図る漁場間移植の提案	普及成果	佐藤利幸ほか
・ふくしま型漁業達成時の漁獲量推定と持続性の評価	普及成果	山田学ほか
・ホシガレイ体内における放射性Cs量と摂餌量の関係	放射線	森口隆大ほか
・オートラジオグラフィによる青ノリ加工場汚染状況の評価	放射線	松本陽
・安価な閉鎖循環装置によるアユ飼育技術の開発	参考成果	榎本昌宏
・福島県沖における震災前後のマガレイの成長	参考成果	守岡良晃ほか

(2) 研究成果報告会

年月日	場 所	対象者・人数	発表課題
R2. 3. 19	福島県水産会館研修室	いわき地区関係漁業者20名	(1)海産魚介類の放射性セシウム濃度 (2)震災後、底魚類の資源利用状況 (3)操業効率化、資源管理、流通の体系化に関する実証研究
R2. 3. 23	相馬双葉漁業協同組合会議室	相双地区関係漁協者40名	(1)海産魚介類の放射性セシウム濃度 (2)震災後、底魚類の資源利用状況 (3)操業効率化、資源管理、流通の体系化に関する実証研究

2 シンポジウム等における課題発表

(1) 課題発表

シンポジウム等の名称	発表課題名	発表者	年月日	開催地
日仏海洋学会学術研究発表会	福島県松川浦のアオノリ養殖における放射性物質低減の取組み	松本陽ほか	R元. 6. 8	東京都
日本水産学会東北支部大会	福島県におけるアサリ資源	山田学ほか	R元. 10. 5	仙台市
海外報道関係者招へい (外務省メディアツアー)	福島県の実産魚介類の安全性と水産業の現状	川田暁	R元. 11. 8	水産資源研究所
太平洋北海域種苗生産機関所長・技術者会議	福島県の実産業の現状	渡邊昌人	R元. 11. 20	水産資源研究所
種苗生産技術等交流会議	福島県の実産業の現状	渡邊昌人	R元. 12. 11	水産資源研究所
令和元年度東北ブロック底魚研究連絡会 (話題提供)	福島県沖における震災後のマガレイの成長式の変化	守岡良晃ほか	R2. 3. 3	—

(2) 投稿論文

投稿先	論文課題名	投稿者	発行
日仏海洋学会誌	Temporal change of eelgrass <i>Zostera marina</i> bed in Matsukawa-ura Lagoon, Fukushima Prefecture	松本陽ほか	56, 11-20 (2018)
東北底魚研究第39号	震災後操業自粛による加入1尾あたり漁獲量・金額の変化	山田学ほか	R元. 12

3 漁業者等研修会の実施状況

年月日	研修会の名称	研修内容	対象者・人数	備考
R元.5.10	がんばる漁業相馬地区沖底部会	震災前後の漁獲努力量	漁業者20名	相双漁協
R元.6.7	原釜機船底曳網船主会	今期の底びき網試験操業	漁業者20名	相馬市
R元.6.11	青年漁業士講座	水産資源の状況と管理	漁業者代表3名	水産資源研究所
R元.9.27	相馬原釜船主船頭会役員会	震災前の6割の努力量としたときの資源量等の試算結果	漁業者代表7名	相双漁協
R元.12.6	相馬原釜底びき船頭会	沖合底びき網漁業の水揚げ状況	漁業者20名	相双漁協
R2.1.28	いわき試験操業検討委員会底曳部会	震災前の6割の努力量としたときの資源量等の試算結果	漁業者20名	福島県水産会館
R2.2.18	相双地区試験操業検討委員会	相双海域におけるメロウド調査結果	漁業者代表等60名	相双漁協
R2.2.18	相双地区試験操業検討委員会	相双海域におけるメロウド調査結果	漁業者代表等60名	相双漁協

4 緊急時モニタリング調査関係報告会

年月日	会議の名称	会議内容	対象者・人数	備考
R元.4.16	相双地区試験操業検討委員会	モニタリング結果報告	漁業者代表等60名	相双漁協
R元.5.21	相双地区試験操業検討委員会	モニタリング結果報告	漁業者代表等60名	相双漁協
R元.6.21	相双地区試験操業検討委員会	モニタリング結果報告	漁業者代表等60名	相双漁協
R元.7.24	相双地区試験操業検討委員会	モニタリング結果報告	漁業者代表等60名	相双漁協
R元.8.22	相双地区試験操業検討委員会	モニタリング結果報告	漁業者代表等70名	相双漁協
R元.9.18	相双地区試験操業検討委員会	モニタリング結果報告	漁業者代表等60名	相双漁協
R元.10.21	相双地区試験操業検討委員会	モニタリング結果報告	漁業者代表等60名	相双漁協
R元.11.19	相双地区試験操業検討委員会	モニタリング結果報告	漁業者代表等60名	相双漁協
R2.1.21	相双地区試験操業検討委員会	モニタリング結果報告	漁業者代表等60名	相双漁協
R2.2.18	相双地区試験操業検討委員会	モニタリング結果報告	漁業者代表等60名	相双漁協

5 一般公開

(1) 月別見学者数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
小学生													0
中高生							34						34
一般	16	40	104	63	28		20	53	62	28	25	13	452
合計	16	40	104	63	28	0	54	53	62	28	25	13	486

(2) イベント等での情報発信

催事名称・開催地	開催日・来場者数	内 容	
先端水産業技術体験フェア 水産資源研究所、相馬原釜 地方卸売市場	令和元. 8. 4 180名	研究紹介	研究成果パネルの展示と説明 施設、試験飼育魚の説明
ふくしま環境教育フォーラム2019 環境創造センター交流棟 「コミュタン福島」	令和元. 8. 10 —	研究紹介	研究成果パネルの展示と説明 放流種苗の展示
相馬市子ども科学フェスティバル 相馬市中央公民館	令和元. 8. 17 1,400名	研究紹介	研究成果パネルの展示と説明 放流種苗の展示
		体験コーナー	解剖教室
相馬共同火力発電株式会社 新地発電所わくわくひろば 水産資源研究所、わくわく ランド	令和元. 9. 29 50名	研究紹介	研究成果パネルの展示と説明 施設、試験飼育魚の説明
		体験コーナー	タッチプール
水産資源研究所参観デー (福島県豊かな海づくり大会) (お魚フェスティバル) 水産資源研究所、相馬原釜 地方卸売市場	令和元. 10. 5 7,000名	福島県豊かな海づくり大会	ホシガレイ稚魚の展示、放流 体験、栽培漁業の取組紹介
		研究紹介	研究成果パネルの展示と説明
		体験コーナー	調査船「拓水」公開 タッチプール、貝殻アート、 おさかな解剖教室
		特別講演	「瀬戸内海の特徴と漁業 福 島県との違い」 広島大学大学院総合生命科学 研究科 富山毅准教授
お魚フェスティバル 福島市公設卸売市場	R元.9.29 10,000名	研究紹介	研究成果パネルの展示と説明
		体験コーナー	タッチプール、貝殻アート、 おさかな解剖教室
会津若松市公設卸売市場	R元.10.27 5,000名		
小名浜魚市場	R元.12.1 15,000名		

Ⅲ 職員名簿

平成 31 年 4 月 1 日現在

所属	職名、氏名	職名、氏名	職名、氏名
	所長	石田敏則	副所長(兼)種苗研究部長 川田 暁
事務部	事務長	加藤英治	主事 木村 耕
種苗研究部	主任研究員	榎本昌宏	主任研究員 實松敦之
	研究員	佐々木つかさ	研究員 森口隆大
	主任技能員	菊地正信	
資源増殖部	部長	渡邊昌人	主任研究員 佐藤利幸
	主任研究員	山田 学	副主任研究員 松本 陽
	研究員	守岡良晃	
調査指導船 拓水	船長	渡辺 忠	機関長 永山清友
	主査(兼)一等機関士	今泉正亮	通信技師 佐藤仁一